あなたの生活と行政をつなぐ

Saku LIFE ライフ

広報佐久

新佐久市誕生10周年記念
インタビュー

新佐久市誕生10周年記念 インタビュー

陸上競技選手　上野裕一郎 …… 3

ヴァイオリニスト　川崎妃奈子 …… 4

プロ野球選手（中日ドラゴンズ）　川井　雄太 …… 5

作曲家　神津　善行 …… 6

㈱美術年鑑社　代表取締役　油井　一人 …… 7

仮面女子　澤田　りさ …… 8

競輪選手　今井　裕介 …… 9

オペラ歌手　飯森　加奈 …… 10

プロサッカー選手（湘南ベルマール所属）　菊池　大介 …… 11

双子ユニット　ALLaNHiLLZ …… 12・13

サッポロビール（サッポロホールディングス 名誉顧問）　岩間　辰志 …… 14

陸上競技選手

上野　裕一郎

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

小学校の頃に、ひたすら小学校の時に虚空蔵山に登っていたという思い出があります。中学校になったら、洞源湖に行ったり、野沢中学から東立科の辺に走っていったり、そういった楽しいことをしていた思い出があります。

それがなかったら、たぶん陸上をやってないと思います。これはできないだろうと言われた時にやってできた嬉しさというのは、今、タイムに挑戦して、達成できた時の嬉しさに繋がっていると思います。

陸上をやっている子どもに向けてアドバイスを

陸上競技は短距離から長距離、マラソンとありますけれども全て継続が大事です。諦めたら何でも終わってしまうと思いますので、毎日、ひたむきに練習していくことが大事だと思います。僕も昔からひたむきにやるようになってから強くなったり、できなかったことができたりしました。絶対に諦めてはいけないし、さぼることも絶対ダメだと思います。隠れてさぼりくらいなら堂々とさぼれるくらいの度胸もつけてほしいなと思います。結果はおのずとやった分だけ返ってくると思いますので、本気になって頑張ってください。

ご自身の目標・PRをお願いします

２０１６年のリオデジャネイロオリンピック、マラソンで日本代表になることが一番近い目標です。将来のビジョンをみると東京五輪が決定していますので、そこまでしっかり選手としてやって、マラソンで東京五輪に出たいというのが最終目標です。本当に短い距離から長い距離でオールマイティに陸上をやってきているつもりなんですけれども、今後そういう短い距離から長い距離、全てができるような選手がたくさん出てくると思うので、その先駆けになれるような選手になりたいと思います。

ヴァイオリニスト

川﨑　妃奈子

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

佐久市といえば自然がいっぱいあることが頭に浮かびます。時間がゆったりとしていて、いつでも帰りたくなる場所です。

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

前山にある貞祥寺です。理由は小学生の時に写生で三重塔を描いたのが最初の記憶ですが、一歩敷地に踏み入れると空気が変わって、また日常から離れた景色があります。春夏秋冬、訪ねたくなります。お寺とか神社が好きなので、街から外れた静かなところに散歩しに行ったりするのが好きです。

ヴァイオリンの魅力は？

ヴァイオリニストを目指した理由は、中学生の時に今もお世話になっている先生と出会って、その時に先生の演奏に感動して、自分もこうなりたいと思ったのがきっかけです。弦楽器は音程も音を出すのも、全部自分の体を使って演奏しますが、音色も人によって、さまざまな音色があったりするので、自分が持っている音色を弦に乗せて出すということがすごく魅力的だと思います。スピーカーを通してしまうと音色とか振動とかが感じられませんが、生で音を聴くことによって違いや体全体に響いてくる音の違いとかがあるので、是非体感してほしいと思っています。

同じ道をめざしている子どもたちに向けてメッセージをお願いします

必ず努力は報われると思うので、今の自分を信じて、いやなことがあっても諦めずに向き合って日々練習を積んでください。

プロ野球選手
(中日ドラゴンズ)

川井　雄太

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

本当に自然がいっぱいあるところで、本当にのびのびというか、自然がいっぱいあって緑がいっぱいあって、のどかなところかなと思います。

今の道を選んだ理由は？

小さいころからの夢だったので、なりたかったな、というのが強かったですね。やはり諦めないことです。テレビで観ていて、ああいう人、選手になりたいな、と思ってずっと続けて来て、夢を諦めないということでこういう結果になったと思いますので、諦めないことが大切です。

同じ道をめざしている子どもたちに向けてメッセージをお願いします

自分も野球をあきらめず、プロ野球目指して小さなころからやったことが今こうやって叶っていますし、皆さんのためにも、自分が将来こういう選手になりたい、目標とされる選手となるように頑張っていますので、皆さんも本当に頑張ってください。小さい頃はもう本当に楽しくて楽しくて、という状況で、ほとんど毎日野球を楽しくやっていたので、野球を好きになることだけで十分だと思います。

ご自身の目標・PRをお願いします

今シーズンの目標ですが、一軍で一試合一試合頑張って投げることです。一生懸命やったことによって結果も付いてくると思いますし、チームも勝てるように頑張って行きたいと思います。

作曲家

神津　善行

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

3月10日大雪が降って、戦争中なので当時は陸軍記念日と言いましたが、12時間行進というものをやりました。岩村田中学（当時）からまず御代田へ出て、そこから小諸とか、軽井沢の辺も歩いたと思います。これを夕方から歩いて次の日の朝まで歩く。トランペットを僕はやってたんで、一番前でラッパを吹いて行進したんですね。今その一緒に吹いた友達と音楽を一緒にやっています。

御代田から佐久をずっと歩いて、夜中に何にも見えないところを全部歩きましたが、その時の思い出がすごくあって、今でもそのことをすごく思い出しては楽しんでるんです。その時に、東京の方の空が真っ赤になったんですよ。それが、次の日の新聞で、東京大空襲があったってことを知りました。あの時の、東京の真っ赤と言うのは忘れられない思い出ですね。

今の道を選んだ理由は？

音楽というものは非常に面白いもので、人を非常にある気持に、みんなが一生懸命やるようにさせたり、みんなで団結していこうとか、助け合っていこうとか、そんな気持ちを作る事も出来るんですね。音楽と言うのは人の気持ちの中に入って行けるので、僕はやってみたいな、と思うことだったんです。最初にやらせられたのが、軍歌みたいなものを吹くことで、みんなを興奮させて、歩かせて、戦争に向かわせたということを僕はやらされたわけで、平和になって、全く逆の道を、同じ事をやっているのに逆の道を歩いているわけですね。そういう意味で、そういう音楽を志していきたいと、その時思ったのだろうと思います。

佐久市民に向けてのメッセージをお願いします

この街の人達も温かさというものがあって、それはどこでもきっと同じだとは思います。うちのおばあちゃんは非常に優しい人だったし、親父も非常に優しい人だったんですね。そういう意味で、佐久は非常に温かい街だと、そしてここは非常に優しい人が多いという、そういう街にこれからしていくことが大事ではないかな、と僕は思います。

㈱美術年鑑社　代表取締役

油井　一人

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

小さな頃では閼伽流山ですが、やはり自然があるということが、のびのびした佐久平という広域の広さと同時に、千曲川も流れてるし、そういう意味ではどこをとっても素晴らしい所だと思いますね。そういったものをもっともっと住んでる人たちが強く意識を持って、生活していただけたらなと思いますね。

佐久市をPRするとしたらどんなところですか

これだけの人口の市に佐久市立近代美術館がある、これだけの規模の美術館があるのは非常に素晴らしいことです。そういう意味で他の県からも羨ましがられている美術館だという風に、関係者として本当に喜んでいますし、もっともっと市民の人達に美術館というものを、愛するというより親しんでいただけたらと思います。一番望むのは子ども達に親しまれる美術館にならなければいけないと思います。小さいときに美術、文化に接するということが今後の子ども達の成長において、表にすぐ出ないかもしれないですけど、気持ちの豊かさというか、美に対する何かとです。やはり数観ていれば、自然に自分が好きか嫌いか、ということなんですね。たくさん観てあとは自分で好きか嫌いかを決める、またハッキリこれが良い、これは嫌いだ、ということはないかもしれないけれど、そういう見方をしないと、ただ皆いいんだいいんだ、という風に思うと何か息苦しくなってしまうように思いますので、好きか嫌いかで観ていくしかないと、私自身も考えています。

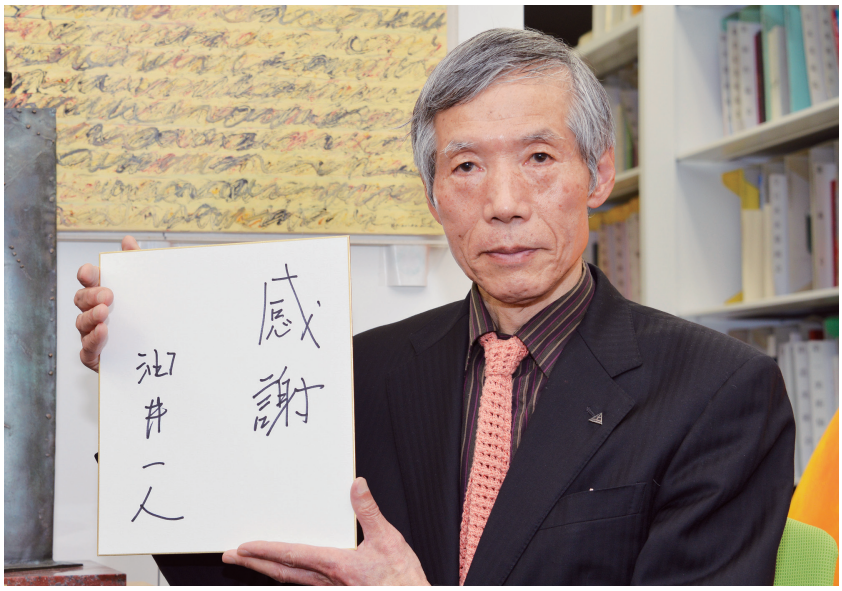
距離というものが、小さいときに接することによって自然に絵を見ることが出来る、美術品に触れることが出来るのではないかな、と思っています。

佐久市の子どもたちに向けてのメッセージをお願いします

身体を鍛えてないと本当に頑張りというものが効かないという所があると思います。文武両道ではないですけど、良く学び良く遊べ、ですね。今の子ども達は身体を動かさないように思います。昔は自転車だってあってないような物で、もう常に歩いて学校に通うということが基本でしたから、身体、足腰が丈夫でないと大きくなって頑張りが効かないと言うことに繋がるだろうと思うので、ぜひそういう意味で身体を鍛えて欲しいなと思いますね。

同じ道をめざしている子どもたちに向けてメッセージをお願いします

これはたくさん観る、ということが一番。わかろうとする必要はないというこ



仮面女子

澤田　りさ

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか?

一番の思い出は子ども未来館です。小さい時、幼稚園の時が一番行きましたが、よく幼馴染の子と一緒に手をつないで歩いて行ったのを覚えています。すべり台とかは年齢制限で小学生までじゃないですか。それがすごく思い出深いです。

佐久市の子どもたちに向けてのメッセージをお願いします

私は中学校3年生の時に、アイドルになりたいと思って一人で東京に飛び出してきました。今、仮面かぶったりとか、変わったことばっかりしていますが、夢を叶えようと頑張っています。どんな夢でも叶えられると思うので自分を信じて頑張ってみてください。

佐久市をPRするとしたらどんなところですか

胸を張っていえることは、とても優しい方が多くて、あいさつとか、知らない方でも気軽に、「おはようございます」と言えて、何か困ったことがあったら、すぐに近くにいる方に頼れるところだと思います。とても自然があふれている場所なのでたくさんの方に来ていただきたいなと思っています。

ご自身の目標・PRをお願いします

私は今アイドルをやっていますが、まずは佐久市の観光大使をやりたいと思っています。是非、私、澤田りさを皆さんに知ってもらって、たくさん応援してもらいたいなと思っています。

競輪選手

今井　裕介

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

浅間山、佐久から望む浅間山がすごく好きで、今でも懐かしく思います。臼田の方から見る浅間山って、形がすごくキレイで好きなんです。あとは稲荷山です。稲荷山のあの階段をよく、朝練習でダッシュしたのをよく思い出しますね。あそこはいいトレーニングになると思いますよ。

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

洞源湖にスケートリンクがあった時代があって。そこで小学校から中学生くらいですかね、朝から晩まで滑っててもすごく楽しかった思い出があります。

競輪の魅力は？

スケートで頑張ってきた体力をまた違ったスポーツで活かせるなら活かしてみたい、という気持ちもありました。あとは、今まではスケートをやるためにお金を集めてやってたのが、今度はお金を自分で稼ぐことをまず自分で知らないと、この先、生きていくものが見つからないなと思いました。競輪というのはやはりプロスポーツですからね。

9人でレースをしますが、その9人の1人1人の役割がレースの中であるんですよ。役割が出来ないと結局、他の仲間に仕事を認めてもらえなくて、任せてくれない。そういうことをすごく肌で感じると言うか、多分色んな職業と一緒なんじゃないかなと思います。いかに自分の仕事をしっかりと出来るか、というのがあると思いますね。任せてもらった時に、例えば自分が1着になれなかったとしても、後ろの人が1着になった時に喜んでもらえたりとか、そういうのがすごく嬉しかったですね。

ご自身の目標・PRをお願いします

またスケートに携わりたいと思っています。佐久の子ども達でスケートをやる子が増えてくれて、チャンスあれば教えたいです。

オペラ歌手

飯森　加奈

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

自然が豊富で水がきれいで、とても住みやすい素晴らしい街だと思います。その中でまた新しく発展を遂げているところに、素敵だな、といつも感じています。

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか？

大変好きなのは佐久市の空です。ここから離れた場所に暮らしている間も、本当にふるさとに戻ってきて空を見上げると、すごく癒されて次にまた頑張ろうという気持ちになれたので、すごく好きです。

佐久市の子どもたちに向けてのメッセージをお願いします

みんな色々夢を持って今も頑張っていると思いますが、私も夢があって、それを今叶えている途中です。きっと支えてくれる先輩は地域の人達がいると思うので、その中で自分の夢を叶えられるように頑張ってください。

ご自身の目標・PRをお願いします

地元の皆さんに支えられてこのように活動することが出来ています。これからもっともっと精進していって、歌の道で頑張っていけるようにしていきたいです。

これからの佐久市に望むことはどんなことですか

新しく発展することも大切なことなんですが、今までの伝統や自然は残したまま発展して行けると良いなと思います。

プロサッカー選手
(湘南ベルマール所属)

菊池　大介

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

中1から中3という短い間でしたけれども、僕の中では他のどこよりもすごく思い出というか、濃い思い出が詰まっていて、一番昔の中での思い出が強いのは長野なので。そういう意味ではサッカーもそうだし、学校生活もそうだし、非常にお世話になったなと思っています。

今の道を選んだ理由は？

僕はもう、小学生の時からプロになりたいと思ってやってましたし、その中で長野県にいた3年間と言うのは非常に大きな3年だったんで、佐久サームと言うクラブで自分が過ごした3年間はすごく大きかったなと思います。練習場があったツガミのグラウンドなどはすごく鮮明に覚えています。

佐久サームはクラブチームの中でもそんなに強い方ではありませんでしたが、その中で味わう悔しさとか、楽しさとか、サッカー以外でのチームメイトとの日々だったりとか、自分の中で大きかったです。またその中で頑張ることによって、ナショナルトレセンという、いろんな地域から上手い選手が集まってトレーニングをすると言うものがあるんですけど、そういうところに行かせてもらって、プロへの欲というか、自分がなりたい欲というのも強まったと思うし、そこで出会った指導者だったり仲間には本当に感謝しています。

同じ道をめざしている子どもたちに向けてメッセージをお願いします

佐久に住んでいるとなかなか、全国に出てレベルの高い選手だったりチームだったり、そういう経験をすることはもしかしたら少ないかもしれないですけど、僕も同じでしたし、そういう中でいかに自分を持って、夢を持って、日々一日一日大事にして練習することが大事だと思います。僕なんかは高校生、中学生の時に高校生と練習試合する時も自分が一番だと思っていましたし、やるからには負けたくないと言う気持ちでプレーしていました。本当にそういう強い気持ちを持って、夢を持って頑張ってほしいな、と思います。

双子ユニット

ALLaNHiLLZ（アランヒルズ）

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

【弟】GLIESE（グリーゼ）というアルバムを今回出しましたが、その中に「はじまりの街」を収録することができました。やっと故郷のことを真正面から捉えて恥ずかしがらず、かっこつけず、故郷についてかいた曲がやっとできました。そこでも歌っているのですが、本当に、実際に何もないじゃないですか。特長ある市ではないけれども、だからこそ大好きな街だとやっと歌えるようになりました。そこには何があるかというと人がいる。自分達の育ててくれた人達がたくさんいて、そして自然があって、だから東京に出てきて戦えるわけだし、ここで頑張ろうと思うわけだし、帰れる場所がある、それが佐久市だって、今やっと思えるようになりました。子どもの頃は出たくてしょうがなくて都会で絶対やってやるのだとかすごく思っていたのですけれども、何もない街ってすごく失礼だと思ったのだけれども、本当はそれこそが一番必要な場所じゃないかなって思います。

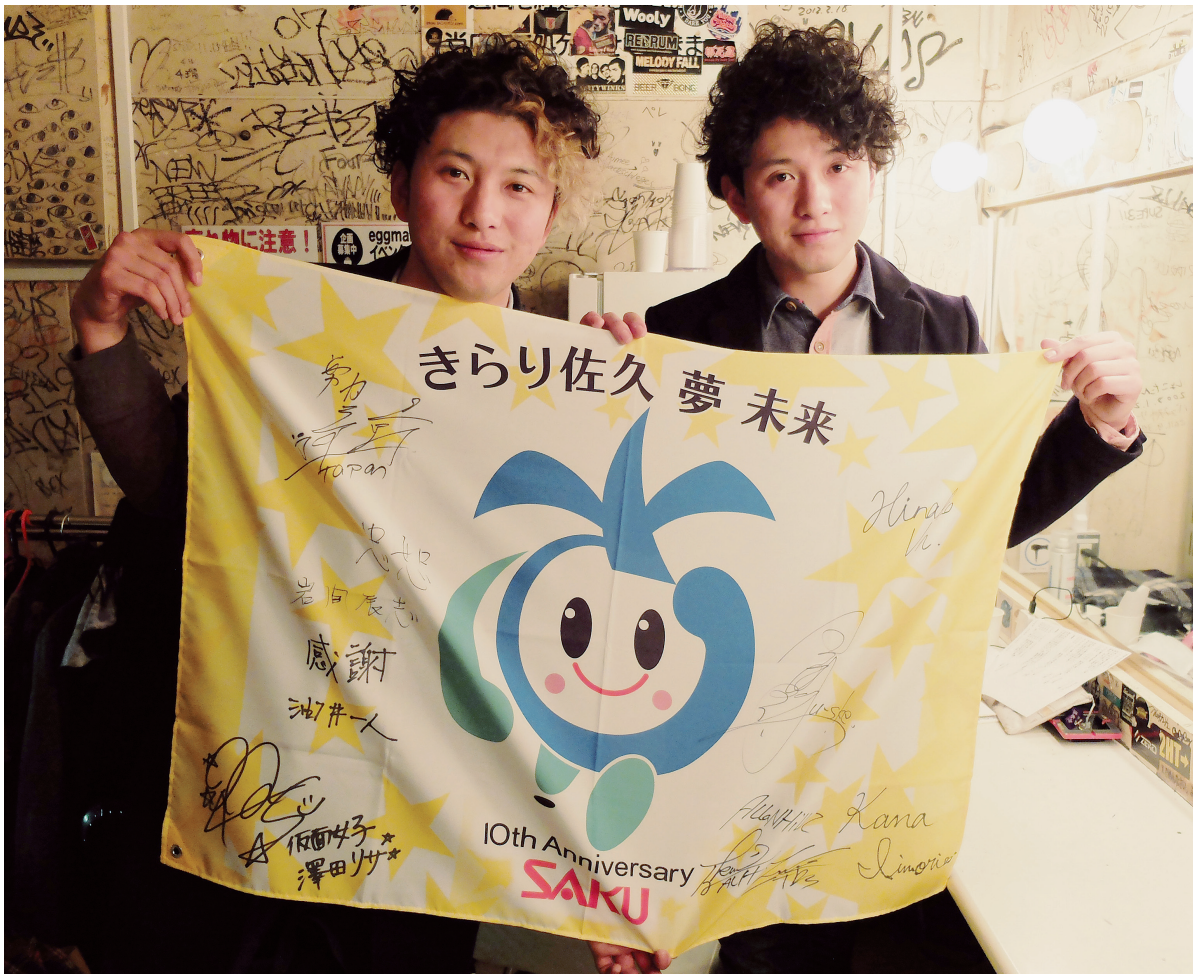
【兄】上京して15年目になりましたが、毎回、帰郷させてもらって歌だったりとか仲間に会ったりとか両親にあったりとかして、また「いってきます」と言った後に、高速道路で帰るときに、高速道路に10本のトンネルがあるんですね。群馬に抜けるまで。10本のトンネルを1個、1個、通過するたびにやってやるのだ、逆に、田舎に対しての思いみたいなものとか新たに決意を固めるみたいなものが、18で出てきた時もあったし、今もより一層そういうのがずっと強くなっていて、いつもリセットできる場所、フラットになれるというか、自分の気持ちとか、殺伐した中に暮したりとか、いろんなアップダウンのある僕ら職業ですけれども、その中で一回帰ってリフレッシュして、いつももう一回やってやるのだという気持ちにさせてくれる場所ですね。

佐久市の子どもたちに向けてのメッセージをお願いします

【兄】佐久市の少年少女の皆さん、何もない街だと思っているでしょう。本当にたぶん東京に行きたいとなると思うし、大阪とかちょっと違うところの地で試したいってなると思います。それはすごく僕としては大事なことだと思うのだけれども、その時に戦っているとその中でふと地元があって良かった、田舎があって良かったと思う瞬間があると思います。その時には素直に、例えばお父さん、お母さんとかに感謝を言うとかが一番大事だと思っています。

もし音楽を目指したいと思っている方がいたら、芸術というのは価値観がやっぱりそれぞれあるので、いろいろな人全員に認められようとするものではなくて、誰かにとって100点、誰かにとって0点、これが芸術です。なので、自分がこうしたい、ああしたいということを常に自分の中の真ん中においてイメージしていくこと、これが一番大事だと思うので、ジャンルにとらわれずに自分がこうしたいと思うことを素直に挑戦してみて欲しいなと思います。

【弟】そして、人生とはでかいことなるけれども、たぶん間違いとか正しいとかばかり追っかけていると、きっと苦しくなってしまうし、そういうふうに生きなければいけない時は必ず来ます。正しいとかじゃなくて、楽しいとか嬉しい、その事を真ん中において生きていくときっと辛いことも絶対止めないでいけるし、それがあるのだから今辛くても絶対楽しくなるのだって思えるでしょう。そういうイメージを持って生きたいなと僕が思っています。皆もそういうふうに思ってくれたらすごく嬉しいし、たぶん最高だなって思えるので、そういって、仲間を増やしたいし、僕は君たちと仲間になりたいし、いつかそうやって笑いあえたら良いなと思っています。



サッポロビール
(サッポロホールディングス
名誉顧問)

岩間　辰志

ふるさと佐久市に対する想いを聞かせてください

佐久市はなんといっても、空は青いし、雲は真っ白できれいだし、山並みが十重二十重へと囲まれていますし、浅間山の裾野の広さは抜群だし、あらゆる意味を込めて自然の素晴らしい環境が揃っていると、もちろん千曲川もずっと南北に流れているわけですしね。そういう自然環境全体から見て、こんな素晴らしいところはない、と、言う風に私は思いますね。

佐久市で一番思い出深い場所はどこですか?

浅間山の裾野の広さがずっと見える所という意味では、野沢橋もそうですし、千曲川の沿線のちょっと高台の所でしたらみんな見えますよね。その素晴らしさだろうと、私は思います。もちろん八ヶ岳、蓼科が見える場所もあるわけですけどね。思い出深い場所は、千曲川の沿線ですね。私は千曲川と湯川の合流地点、昔の高瀬村で育ちましたから。

これからの佐久市に望むことはどんなことですか

世界最高健康都市と言う標榜をしています。私は最初、なかなか大風呂敷だな、と思ってましたけれど、現実今こういう社会になってみますと、それは実現可能だと思うし、むしろこの旗はしっかりと立てた方が良いのではないかと思います。先ほど申し上げた都会的な部分、それからあるいは工業地帯的なもの、それから農業を中心としたところ、あるいは観光を中心としたところ、こういうものが全てあるわけで、これをどういう風にブロック毎に私は特色づけをした上で、佐久市全体のバランスの良い、住む人にも良い、健康にも良い、将来にも良い、そういう大きな絵を描いていったら本当に世界最高都市が、健康だけではなくて、健康もメンタルも全ての面で素晴らしい都市が出来上がる可能性があると思いますね。

佐久市の子どもたちに向けてのメッセージをお願いします

こんなに自然に恵まれたところはない訳です。一方では長野県の教育水準と言うものがみんな高いですよね。と言うことは、自分のお父さんお母さんもそう言う長野県の伝統的な教育を受けて来ているわけですから、そういう自然の良さの中で、もう一方では一生懸命勉強するという、学びの姿勢のある都市だと思います。頑張って勉強をしてもらいたいな、と思います。